

## - 原著 -

長野赤十字病院口腔外科開設後20年間の  
外来患者の臨床統計的観察

櫻井 健人, 横林 敏夫, 清水 武, 五島 秀樹,  
鈴木 理絵, 大久保 雅基, 長田 美香

長野赤十字病院口腔外科  
(主任: 横林敏夫)

Clinico-statistical Observation on Out-patients during the past 20 years at  
Department of Oral and Maxillofacial surgery, Nagano Red Cross Hospital

Taketo SAKURAI, Toshio YOKOBAYASHI, Takeshi SHIMIZU,  
Hideki GOTO, Rie SUZUKI, Masaki OKUBO, Mika OSADA

*Department of Oral and Maxillofacial Surgery in Nagano Red Cross hospital*  
(Director: Toshio Yokobayashi)

平成16年10月28日受付 12月9日受理

Key words : clinico-statistical observation ( 臨床統計的観察 ), Outpatients ( 外来患者 ), Oral and Maxillofacial Surgery ( 口腔外科 )

Abstract : We performed clinical statistical observations on patients for twenty years, from October 1983 to September 2003, at the Department of Oral and Maxillofacial Surgery of the Nagano Red Cross hospital. Some of the results obtained are listed below.

1. The total number of patients was 64421 consisting of 28527 males (44.3%) and 35894 females (55.7%); a male to female ratio of 1:1.3. Patients in their 20s accounted for the most visits 21.2%, followed by those in their thirties and then those in their fifties.
2. Patients living in Nagano city accounted for 68.0 % of the total number of patients.
3. As for referrals, 25694 were sent to us from other clinics, while the remaining 8077 were referred from other departments within the hospital.
4. In terms of disease classification, 10.9%of the patients visited due to craniofacial deformities; 6.6% due to traumatic injury; 32.1%due to inflammation; 7.4%for oral mucosa disease; 6.0%due to cysticlesions, 1.9%for tumors; 2.0%for tumor-like lesions; 12.3%for temporomandibular joint disorder; 1.4%due to salivary gland disease, 1.9%for neurological disease, 0.2%for blood disease; and 4.6% for general dental disorder.

抄録 : 今回, わたくし達は長野赤十字病院口腔外科の開設した1983年10月から2003年9月までの20年間の外来患者について臨床統計的観察を行い, 以下の結果を得た。

1. 対象期間中の新患者総数は64421名であり, 性別は男性28527名(44.3%), 女性35894名(55.7%)でありその比は1:1.3であった。年齢別では20歳代がもっとも多く13674名(21.2%)であった。
2. 新患者の居住地は, 当科の位置する長野市が43810名(68.0%), 次いで隣接する上水内郡5157名, 須坂市2990名, 更埴市2585名の順であった。
3. 紹介医療機関は院外紹介が25694名, 院内紹介が8077名であり, 院内外からの紹介患者の合計は33771名で紹介率は52.4%であった。また院外紹介患者の内訳は, 歯科・口腔外科からの紹介が20989名(81.7%), 矯正歯科1512名(5.9%), 歯科・口腔外科, 矯正歯科以外の医療機関からの紹介は3193名(12.4%)で内科, 耳鼻科, 外科, 整形外

科，小児科の順であった。

4. 疾患別では，発育異常・奇形・変形10.9%，外傷6.6%，炎症性疾患32.1%，粘膜疾患7.4%，嚢胞性疾患6.0%，腫瘍性疾患1.9%，腫瘍類似疾患2.0%，顎関節疾患12.3%，唾液腺疾患1.4%，神経性疾患1.9%，血液疾患0.2%，一般歯科疾患4.6%であった。

### 緒 言

長野赤十字病院口腔外科は新病院への移転を機に長野県北信地域唯一の口腔外科専門医療機関として1983年10月に開設され，2003年10月で開設満20年を迎えた。当科開設の際，地元歯科医師会との役割分担を明確にし，いわゆる一般歯科疾患は重度心身障害者のみとし，職員はもとより入院患者についても原則行わないこととし，院内標榜は「口腔外科」を一貫し「病診連携」を率先してきた。

今回，当科開設後20年間の臨床の実態を振り返り，地域医療の実態を把握するため，外来における新患者について臨床統計的観察を行ったので報告する。

### 対象および方法

長野赤十字病院口腔外科の開設した1983年10月から2003年9月までの20年間に当科外来を受診した新患者64421名である。新患者については，初診時の主訴につながる診断により一患者一疾患としたが，年が変わり別の新たな主要疾患のため受診した場合は新たに新患者として扱った。これらについて年次別，月別新患者数，性別および年齢，新患者の居住地，紹介医療機関，疾患内容のそれぞれにつき臨床統計的観察を行った。

### 結 果

#### 1. 年次別新患者数

新患者の年次別推移は，開設3年目の1985年には新患者数が2000名，1990年には3000名を越え，1998年，1999年の2年間は3900名を越えた。その後の最近3年間はやや減少したものの3600名前後で大きな変化は認めなかった。（図1）

#### 2. 月別新患者数

月別新患者数は，3月が最も多く6063名（月平均303名），以下多い順に7月5743名（月平均287名），8月5709名（月平均285名），6月5655名（月平均283名）であった。また，最も少ない月は12月の4705名（月平均235名）であった。（図2）

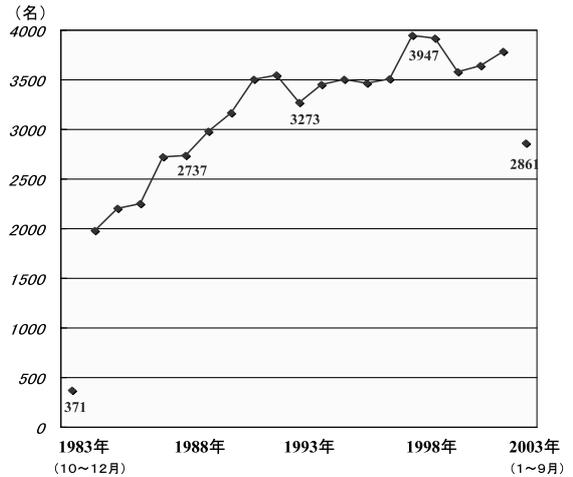


図1 外来新患者の年次別推移

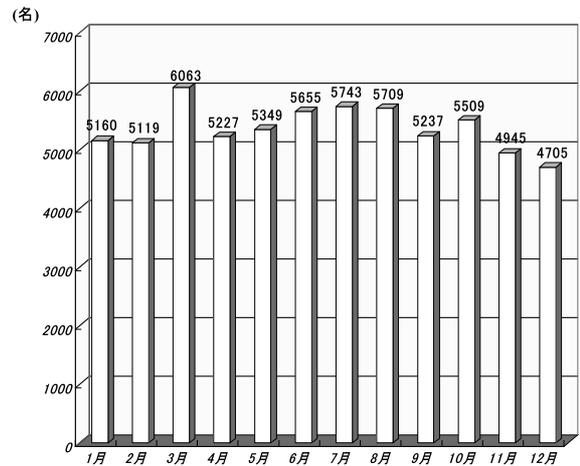


図2 月別新患者数

#### 3. 年齢，性別新患者数

性別については，男性28527名（44.3%），女性35894名（55.7%）でその比は1：1.3であった。年齢別にみると，20歳代が13674名（21.2%），30歳代9685名（15.0%），50歳代7939名（12.3%）の順であった。高齢になるに従い患者数は少ない傾向であった。（図3）

#### 4. 居住地別新患者数

新患者の居住地は当科の位置する長野市が43810名（68.0%）と圧倒的に多く，以下隣接する上水内郡5157名（8.0%），須坂市2990名（4.6%），更埴市2585名（4.0%）の順であった。